

内海聖史

(画家・境町文化芸術アドバイザー)

記録的な猛暑も翳りをみせ、足早に秋が訪れています。我々「境町アートプロジェクト」が主に企画をしている、S-Gallery 肅祭寶美術館(境町坂花町1455-1)にはもう来ていただけましたか？



肅祭寶美術館インスタ

①2024年10月2日(水)・11月4日(月・祝)まで、同館では「上田薫展」を開催します。美術の教科書で、卵が割れてとろとろと中身が流れ出ているリアルな絵画を見たことがあるでしょうか？茨城大学の教授として教鞭を取られていたので、意外と身近な作家さんですね。「スーパーリアリズム」というまるで写真のように描く絵画だと思っていました。本人はどのように考えていないのでしょうか？どういふことでしょうか？ぜひ実物を見て確かめてみてください。



上田薫展 HP

その後、2024年11月13日(水)・12月8日(日)「中嶋明展」2024年12月18日(水)・2025年2月24日(月・祝)「第二回さかいまち国際児童画展」を予定しています。中嶋明は不思議で抒情的な人物像を描く作家。国際児童画展は、昨年大好評を博した展示の第二弾。今から楽しみですね！スケジュールに入れておいてください！

②「境町アートプロジェクト」作家情報

・内海聖史

新しい自動運転バスのデザインを担当しました。現在、フランスの ARMA (アルマ) 4 台、エストニアの MiCa (ミカ) 3 台、計 7 台のデザインをしています。全部町中で観た方は居ますかね？ちなみに僕はまだコンプリーティングしていません。その他、うなぎ施設の内装とか、これからの境町の中のデザイン監修をちょこちょこやっているの、観てくれたら嬉しいです。2024年12月から渋谷のヒカリエ8Fにて個展も開催。これから S-Gallery のアトリエで2ヶ月追い込みで制作します。

・卯野和宏

「25人の絵展」京都芸術大学洋画通信課程に関わった作家たち」会期：11月19日(火)・24日(日)

会場：ギャラリーヒルゲート(京都市中京区寺町通三条上ル天性寺前町535)京都に紅葉見物がてら、お寺もアートも見られれば最高ですね。美術館やギャラリーは天気に左右されにくいので、

旅行の予定に組み込むと大きなスケジュールの崩れが起きにくいですよ。

③オススメ展覧会

・「田中一村展奄美の光魂の絵画」東京都美術館

2024年9月19日(木)・12月1日(日)

・「ルイズ・ブルジョワ展 地獄から帰ってきたところ

言つとくけど、素晴らしかったわ」森美術館

2024年9月25日(水)・2025年1月19日(日)

・「モネ 睡蓮のとき」西洋美術館

2024年10月5日(土)・2025年2月11日(火・祝)

展覧会を観ると、身体も頭も今の自分とは別の場所に連れていってくれます。芸術の秋とは言いますが、芸術は春夏秋冬いつでも生活と共にあるものです。これからも沢山アートの企画を準備していますので、楽しみにしてください！

俳句

令和六年七月 境町文化協会俳句部

兼題 「冷麦・老鷲」他当季雑詠

冷麦や薬味にいつも母の知恵

慶子

※五月の母の日が過ぎて、六月の父の日が終わった。何処も同じように、父親の存在は母親には到底及ばない。作品の「薬味」一つにしても子の健康・好き嫌い・旬の産物など心遣いも細やかだ。母の知恵とは実に有難いものである。

冷麦や喉越しの良さ涼を呼ぶ

信子

※猛暑の季節を迎えるたびに、冷麦やそうめんなど涼感あふれる素晴らしい日本の食文化に感動と感謝の念を新たにします。すでに、目出度く孕寿を越えられた作者ご自身もまた、沢山の薬味を添えて日々、健康増進に励まれている。

老鷲や竹林囲む大屋敷

冷麦やかき揚げ熱き母ごころ

冷麦やスルリと逃げしガラス椀

冷麦やガラスの器用意して

冷麦やひとすじの赤うばいあい

山の宿老鷲啼いて目覚めけり

冷麦や音立て囁る通の客

冷麦があればご機嫌孫娘

のど自慢老鷲のごと自慢気に

老鷲の声に目覚める山の宿

冷麦やシンと冷したガラス器で

退院の妻とふと寄る冷麦屋

古里の名もなき山や老鷲啼く

竹ざるの冷麦囲む子等の顔

老鷲や真似して応ふ節回し

幸いは昼寝冷麦今日終へる

短歌

境短歌会 山鳩

雨上がり夕焼け空に虹が出て我が子と共に幸せ祈る

川上京子

赤とんぼしおからとんぼ次々に涼を求めて羽根を休める

川村米子

境にはいたがいますかわいひよ食材の供隠し味めく

古谷野信子

夕暮れに打ち水してもすぐ乾き黒猫そばで首をかしげる

桜井レイ

帰り道利根堤まで迂回して遙か彼方に城を仰ぎぬ

五月女三枝子

都会より移りて住みし六十年今境町故郷となる

鈴木喜與子

夏の空高く広いよどこまでも狭い心の私反省

松岡美智子

鬼怒の土手夏草茂り見下ろせば長竿を操る初老の人あり

本島イト子

暑かった夏もようやく終わりが近づいてきました。が、東北地方や九州地方での自然災害による被害があり、人の力では何ともならないといえとても恐ろしいことだと思えます。被害に遭われた地方の方々からお見舞い申し上げます。秋に向かい、さわやかな季節をゆつくりと楽しみたいと思います。



S-Gallery 肅祭寶美術館 information 茨城県猿島郡境町 1455-1 TEL:0280-23-4148

上田薫展

2024年10月2日(水)～11月4日(月・祝)

■開館時間：午前 10:00～12:00 (入館 11:30 まで)
午後 13:15～17:00 (入館 16:30 まで)
■休館日：月・火、10月15日(火)～10月16日(水)
但し、10月14日(月・スポーツの日)、
11月4日(月・振替休日)は開館

「トークイベン」10月6日(日)
13:15～14:00
「上田薫・自然への想い」
登壇：花坂 陽朗 (高島屋美術部)

■入館料：330 円
18 歳未満、65 歳以上は無料 (年齢が確認できるものを提示)
各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い 1 名無料

「広報さかい」「広報さかいお知らせ版」へ有料広告を掲載しませんか？

広告募集中

広告掲載料

◎ 1 段全枠 (44mm×175mm) 15,000 円

◎ 1 段半枠 (44mm×85mm) 8,000 円

※詳しくは下記まで問合せください。

問合せ先

秘書広聴課

電話 81-1329

E-mail kouhou@town.ibaraki-sakai.lg.jp

